

# 大泉

## あいさつされたら倍返し

校長 中岡 盛一

四月二十二日に、今年度初めての遠足を五組と行ってきました。残念ながら一人欠席でしたが、新緑の木々の中、日和山から物見山まで歩き、山頂ではおおいしくお弁当を食べ、楽しい一時を過ごすことができました。日和山では、すれ違ふ他の登山者と「こんにちは」とあいさつを交わしながら頑張つて登りました。学校に戻ってから子供たちに、

「山登りの途中、人とすれ違ふ時に、『こんにちは』と声をかけ合いますね。もし無言ですれ違ふと、せつかくの楽しい気分が一瞬沈みませんか。登る人には『これからが大変だよ、がんばって』と励ましの気持ちを込めて、下る人には『ご苦労様、大変だったでしょう』とねぎらいの気持ちを込めてあいさつをします。あいさつすることは相手



の存在を認め、相手に心を開くことです。思い切つて自分からあいさつすると、心が解放された気がして、力が湧いてきます。あいさつは、自分の心の扉を自分で開ける魔法の言葉です。」

<発行>  
練馬区立大泉小学校

<所在地>  
練馬区東大泉 4-25-1

TEL 03-3924-0144  
FAX 03-5387-2092



保護者会でお示しした学校経営方針に挙げてありますが、大泉小学校では、相手を認め、受け入れ、大切に思う第一歩として「あいさつ指導」に力を入れていきます。特に大事だと思うことは、あいさつをされたら返すことだと思います。自分から声をかけて、あいさつをすることも大切ですが、返事のあいさつをすることも忘れてはいけません。その時は、大きな声で相手の心に響くように返したいものです。昨年の流行語大賞の倍返しです。つまり「あいさつされたら倍返し」です。相手の声の倍ぐらいの大きな声であいさつして気持ちを伝えられたらいいと思います。また、あいさつとはちょっと違います。別の日に、感心する子供たちの姿を見ました。それは、北野神社側にある門で、朝子供たちを迎えていた時、大人の人に交じつて神社に向かってお辞儀をしている子供の姿です。言葉のあいさつではありませんが、何か心がジワーと温かくなりました。

### 5月の行事予定

1日 (木)	あいさつ月間始め 1年生5時間授業開始 内科検診(1・5)
2日 (金)	委員会活動 離任式・6時間授業(456)
3日 (土)	憲法記念日
4日 (日)	みどりの日
5日 (月)	こどもの日
6日 (火)	振替休日
7日 (水)	視力検査(6)
8日 (木)	視力検査(5) 安全指導・安全点検 光が丘プール(五)
9日 (金)	クラブ活動 視力検査(4)
12日 (月)	視力検査(1)
13日 (火)	避難訓練 言語指導(五) 寄生虫卵検査予備提出日 耳鼻科検診(156)
14日 (水)	交通安全教室(1) わくわくタイム 尿検査一次予備提出日 言語指導(五)
15日 (木)	特別時程(5時間授業) 視力検査(3) 遠足(12)
16日 (金)	光が丘プール(五) 視力検査(2) 4時間授業
19日 (月)	移動教室前検診(6)
20日 (火)	下田移動教室始(6)
22日 (木)	自転車教室(3) 働く消防の写生会(25) クラブ活動
23日 (金)	下田移動教室終(6)
26日 (月)	読書旬間始め
27日 (火)	尿検査二次提出日
28日 (水)	1年遠足予備日
29日 (木)	地域班会集 心臓病検診(1・対象者)
30日 (金)	クラブ活動 PTA総会 特別時程(6時間授業)

### 『5月の生活目標』 「すすんであいさつや 返事をしましょう」

学校の生活は「おはようございます。」というあいさつに始まって「さようなら」というあいさつに終わります。明るく元気なあいさつは相手も自分自身も気持ち元気になります。あいさつはお互いを確認し合い、人と人とのコミュニケーションにとっても大切な役割を果たします。また、学校での生活では「ありがとう」が大切です。や「お願いします」といった場面も多くあります。何かしてもらったことが当たり前ではなく、相手への感謝の気持ちを忘れず、自然とお礼の言葉が言えるような児童に育ててほしいと考え、指導をしています。

自分からあいさつができる児童がとて増えてきましたが、まだ恥ずかしくて照れてしまったり、自分からあいさつすることが習慣化していない児童もいます。学校では元気にあいさつができるように、職員も子供たちに元気よくあいさつをしていきたいと思っています。

大泉小では年間三回あいさつ運動月間を行います。三年生以上の子供たちから、「あいさつ応援隊」を募集し、朝教員と一緒にハイタッチ運動をします。校内に元気なあいさつの声が響くよう、ご家庭でも声かけをお願いいたします。

(坂上 龍介)

### ◎『心のふれあい相談室』について

ふれあい相談員は、浅沼玲子相談員です。  
・ 時間…火曜日・木曜日  
9時30分～17時15分  
・ 場所は、和室で行います。

### ようこそ大泉小へ！

新しく大泉小へ赴任した教職員です。

☆入学式や保護者会などで少し顔を覚えていただけたかと思えます。気軽に声を掛けていただければうれしいです。

校長室の扉は、なるべく開けておくようにします。学年の先生にはちよつと話しにくいこともお話しください。  
(中岡 盛一)

☆明るく声を掛けてくれる子供たち。校舎内に流れる、温かく爽やかな風の心地よさ。この出会いに感謝しております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。  
(尾崎 承子)

☆豊島区立仰高小学校から参りました。明るく元気な子供達に困まれ、毎日楽しく生活しています。一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ致します。  
(佐藤 亜由美)

☆練馬区の光和小学校から異動して参りました。「おはようございます」という元気な声が、大泉小学校の子供達の印象です。負けずに私もあいさつをしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。  
(中野 久栄)

☆本年度から大泉小学校の教員となりました立田康徳です。練馬区の小学校と中学校の出身です。大泉小の皆さんの元気に負けないよう毎日元気いっぱい過ごしていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。  
(立田 康徳)

☆元気に挨拶をしてくれる大泉小の子供たちに出会えて嬉しく思っています。毎日笑顔で、子供たちと楽しく過ごしていきます。よろしくお願ひいたします。  
(木村 菜摘)

☆光が丘夏の雲小学校から来ました小日向の学校から、開校百二十年を超える大泉小学校へ来て、その歴史の重みを感じています。どうぞよろしくお願ひいたします。  
(小日向 健文)

☆「おはようございます。」きちんと挨拶する大泉小の子供たちに感じました。一年生は、先生の話をよく聞きルールを守って落ち着いて学習し立派です。誰もが笑顔で生き生きと生活できるよう支援していきたいとおもいます。  
(白杵 洋子)

☆はじめまして井阪です。上板橋小学校から来ました。二年と五年の子供たちと、家庭科、算数、書写を勉強します。とても素直な落ち着いた子供たちが多く、授業がやりやすいです。楽しい発見をいっぱい伝えたいと思います。  
(井阪 公子)

☆縁あって今年度週一回ことばの教室にお手伝いをさせていただくことになりました。かつて10年間お世話になった大泉小に戻ってくるのができ、今なつかしい気持ちでいっぱいです。どうぞよろしくお願ひいたします。  
(龍谷 恵美子)

☆月、水、金の週三日、五組の皆さんと体育を頑張ります。火、木は練馬東小学校へ行っています。泳ぐのが好きです。シユノーケリングで、魚やサンゴを見るのが好きです。夏休みになるのを楽しみにしています。  
(黒瀬 利子)

☆初めまして。4月から学校生活支援員として五組の子供たちと一緒に過ごしていきます。マラソンや作業を頑張る姿や笑顔に私の方がパワーをもらい、私も頑張ろうと思う毎日です。どうぞよろしくお願ひいたします。  
(高松 美佐)

☆はじめまして。素直で優しい子供たちに元気を分けてもらいながら、少しでも学校が安全で、過ごしやすい環境になるよう、力を尽くしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。  
(沼尾 喜好)

### 校内研究について

本校は、前年度に引き続き大泉中学校との小中一貫教育について研究を行います。練馬区の小中一貫教育では次のことを目指しています。

- ① 授業改善による学力や体力の向上
- ② 連携指導による、豊かな人間性や社会性の育成
- ③ 滑らかな接続による、安定した学校生活

この方針の下、研究主題を「進んで学ぼうとする児童・生徒の育成」として、「算数・数学」「理科」「保健・体育」「特別支援・交流」の四つの分科会に分かれて研究を進めています。

各分科会は児童のよい点と課題点を明確にし、児童の課題を改善していくための小中九年間を見通したカリキュラムを作成します。作成したカリキュラムに沿って教育実践し、児童の課題がいかに改善していくかを検証します。実践の成果を大泉小学校のすべての児童の力と成長につなげていくのが研究の目指すところです。

今年度の研究授業の予定は、中学校の授業が六月十二日(木)、小学校の授業が七月十六日(水)、九月十日(水)、十月二十八日(火)、十一月十八日(火)に予定されています。特に十一月十八日(火)は大泉第六小学校や大泉東小学校の先生方も参観に来る予定です。

小中の九年間の教育を見据え、小学校としてできる最善の教育を児童に還すことができるよう、教職員一同が考えながら研究に取り組んでまいります。  
(研究推進 遠藤 敦)

### わくわくタイム

大泉小学校では縦割り班の活動として、「わくわくタイム」が年間9回計画されています。水曜日の朝の時間での縦割り班遊びと、一年間の最後に六年生に向けた「おわかれ給食」が主な活動です。

わくわくタイムのねらいの一つ目は、異年齢同士の子供たちの交流を活発にするということです。日頃、学級や学年での活動の場は多くありますが、わくわくタイムの活動は異年齢との友達関係を広めていく上でも良い機会になります。

二つ目は、年齢の違いによる互いの助け合いや学年に応じた役割を経験するということです。六年生は、どの学年にとつても楽しい活動になるように、工夫をしながら計画をして活動を進めます。五年生は、班の一年生を教室まで迎えに行き、安心して参加できるような手助けをしています。低学年は、班をまとめるお兄さんやお姉さんの話に一生懸命耳を傾けたり、憧れの気持ちをもったりする姿も見られます。「今日のわくわくタイムで、こんなことしたよ。」と嬉しそうに教室に戻ってくる場面も見られます。その中間で中学年は、年齢の近い低学年のことも気にかけて、高学年の姿をお手本にしながから自分たちの力にしていきたいです。

今年度のわくわくタイムも、子供たちにとって楽しみながら成長につながる場であってほしいと思います。  
(比護 明日香)

